



～エール～

神奈川県秦野市教育委員会
〒257-8501 秦野市桜町1丁目3番2号
0463-84-2783
文責 佐藤直樹

☆教育長だより始めました!☆

令和4年度も、市内13の小学校では1,181名の、また9の中学校では1,262名の新入生を迎え、新学期がスタートし、早くも2か月が過ぎようとしています。**進級した児童生徒も含め、合計11,556名が新学期を迎え、気持ちを新たに学校生活をスタート**させました。

令和2年9月に教育長を拝命し、早くも1年半が過ぎようとしています。教育長と大きくと誰と思う人も多いと思いますが、**教育委員会とは、子どもたちが皆さんが安心安全で楽しい学校生活が送れるよう学校を応援する組織**で、私はその責任者です。もともとは中学校の体育教師でしたので、「**こどもファースト**」を大切に**して職務にあたっています。**

この1年半、コロナ禍もあってか全力疾走の毎日で、人生の中で一番スピードの早かった歳月だと感じています。余裕が出たわけではありませんが、少しずつ仕事にも慣れてきたので、児童生徒の皆さんはもちろん保護者や地域の方々にも**秦野の教育が理解いただけるよう**、念願だった教育長だよりを始めることとしました。不定期にはなりますが、御一読いただけたら幸いです。



高橋市長と
新しい校長先生方の懇談会

教育長だよりをエールとした理由



実は野球人です

エールとは英語で表記すると「y e l l」「a l e」がありますが、このエールは、令和2年(2020)前期放送のNHK「連続テレビ小説」第102作として3月30日から放映されたドラマ作品の題名からとっています。

ドラマの主人公は、私の生まれ故郷「福島市」出身の古関裕而氏で、夏の高校野球甲子園大会の大会歌「栄冠は君に輝く」はじめ生涯5000曲もの応援歌を作曲した音楽家の生涯をモデルにした作品でした。令和2年はコロナ禍の発生で混乱の年となり、あまり話題にはなりませんでした。が、**秦野の子どもたちや先生方への応援という意味**を込めて教育長だよりの通称としました。

～第一回いじめを考える児童生徒委員会開催される～

新学期が始まって1か月が経ちました。各校では、授業はもちろん、係や委員会活動、中学校では部活動など、学校生活における様々な活動が軌道に乗り始め、学校生活への楽しみが膨らんできている時期かと思います。まだ新型コロナウイルス感染症には気を付けながらの毎日ですが、**5月8日(日)「第一回いじめを考える児童生徒委員会」を開催**することが出来ました。

この「いじめを考える児童生徒委員会」は、平成20年に設置され今年で15年目を迎えました。「長く続くには訳がある」とも言いますが、皆さんは、どうして長く続いていると思いますか?恐らく答えは、一つではありません。少なくとも私からお話しできるのは、毎年全ての小中学校から2名ずつ参加してくれた委員の皆さんが、**この秦野からいじめを無くそうと、互いに協力し、知恵を出し合い自分たちの意見を発信をして、いじめの根絶に向けて努力**を重ねてきたということです。最近でも全国的には、いじめが原因で大きな事件に至ることもあります。いじめは誰にでも、どこにでも起こると言われており、いじめは悪いことだということも誰もが知っていることです。それでも、残念なことはいじめはなかなか無くなりません。

そして今年も、GW最終日に牛田教育委員にも参加をいただき 2年ぶりに委員全員が一堂に会する形で「いじめを考える児童生徒委員会」では44名の児童生徒に委員として委嘱状をお渡しすることが出来ました。各委員の皆さんは、学校の中で、いわゆる「リーダー」であり、児童会や生徒会の役員として活躍している人が多いと思います。委員の皆さんも会を迎えるにあたり、「初めて会う人も多く、こんな意見を言ってもいいのかな。」と、不安になっている人もいたかもしれませんが、**この会に集まってくれた小学生、中学生のみなさんには大きな力があります。**

一例ですが、中学校で先月14日の給食で提供された「桜ごはん」は皆さんの意見が形になったものです。新聞等にも掲載されましたが、これは**秦野の名産である八重桜を活かそうと、中学生のアイデア**をもとに、実現されたものです。**中学生の発想が、秦野市を動かすことにつながった例**と言えます。

さて、これから11月まで、計4回の委員会が開かれますが、委員のこれまでの経験や知恵を活かし、意見を出し合い、いじめが起きないようなクラス、学年、学校を目指して活動に積極的に取り組んでもらいたいと期待しています。最後に、休日にもかかわらず御参加いただいた先生方にも、感謝しています。**安心安全な学校には、未然防止が最大の対応策**です。「**委員さんひとりひとりの意見を、各校や地域に広がるよう風を起こす**」これが**最も重要**ですので、保護者や地域の皆さんも含めて、ご理解いただきご協力をお願いいたします。



令和4年度
いじめを考える児童生徒委員会委員

ICTマスターの輪！今年は54名まで広がりました！

ICTマスターとは、児童生徒一人一台のタブレット端末を配備し、新たな学びのスタイルを目指したGIGAスクール構想の実現に向けて、**各校でのICTの活用に意欲的な先生方を応援するため、昨年からはじめた本市独自の制度**で、令和3年2月に第一期生27名を、同年11月には第2期生18名を、ICTマスターとして委嘱したものです。ICTマスターは、校内での公開授業や活用方法のヒントになる掲示物の作成等、**各校でICT利活用のリーダー**として取組んでいます。ICTマスターの先生方は、専用サイト内の構築によるマスター同士の情報共有として、Google class roomの掲示板の機能を活用し、いつでもどこでも授業実践の紹介や活用推進のための取組、各校への質問など情報共有を活発に行い、本市のICT教育を牽引してくれています。また、渋沢小学校、末広小学校、大根小学校、西小学校、上小学校、本町中学校、南中学校、渋沢中学校の8校にて公開授業も行っています。

特に大きな成果としては、昨年の臨時休校や短縮日課でのオンラインを活用した支援の実践共有を行ったことで、学びの保障に貢献してくれました。**ICTマスターに対してアンケートを実施し「ICTマスター制度が秦野市のICT活用推進に効果的だったか」という質問に対してほぼ全員が「効果的だった」と回答**しておりICTマスターの先生方も効果を実感していただいています。

一方課題としては 各校のICTマスターは情報担当や視聴覚担当も兼務している方が多く、初期設定やトラブル対応など業務量が膨大になってしまったという報告が多数寄せられており、今後は、各校とも適宜情報共有し、**働き方改革につながる実践を目指したい**と考えています。今年度のICTマスター54名、あなたの学校の先生は見つかりましたか？

☆秦野市ICTマスターの先生方☆

本町小	八代 史高	本町中	坂井 優一
本町小	河合 良太	本町中	柳田 哲朗
本町小	荒井 凌	南中	松村 広菜
南小	奥村 千之	南中	山元 望史
南小	亀井 雄太	南中	田村 航輔
東小	出村 溪太郎	南中	平井 泰輔
東小	岩崎 美里	東中	伊藤 雄介
東小	志田 拓也	東中	佐藤 亮仁
北小	中津川 悠真	東中	橋井 遼太郎
北小	小澤 祐志	東中	高橋 望
北小	塩見 元基	北中	瀬戸根 正基
北小	松永 雅史	北中	本間 智寛
大根小	加藤 敦視	大根中	加藤 駿
大根小	草山 亮輔	大根中	北 英了
西小	坂井 恒太	西中	栗山 裕次
西小	甲斐 一成	西中	菅 嘉樹
西小	手塚 直人	西中	加藤 優樹
上小	松田 英治	西中	吉田 翔一
広畑小	林下 昌史	南が丘中	福川 真南
広畑小	町田 文美	渋沢中	上野 一樹
渋沢小	川原 翼	渋沢中	今井 堅也
渋沢小	飯坂 邦彦	渋沢中	高辻 敦貴
末広小	石川 隆	渋沢中	河野 仁
末広小	藤田 賢哉	渋沢中	幸王 孝公
南が丘小	松岡 将生	鶴巻中	宇山 雄登
堀川小	森谷 祐規	鶴巻中	福本 純也
鶴巻小	吉村 尚記		
鶴巻小	関野 倫也		

敬称略

秦野の環境教育をテレビが着目！

本市では、秦野産木材の活用促進と**森林環境教育の一環**として、**市内の建築組合の協力**を得ながら、平成26年(2014)の上小学校を皮切りに市内3校で学習机の天板を**秦野産ヒノキの無垢材**に取り換えてきました。現在も、表丹沢の山々と渋沢丘陵に囲まれた街並みは、森林観光都市を標榜するほど自然環境に恵まれた地域となっています。**秦野のヒノキは、木の香りや色合いもよく、歌舞伎座やオリンピックの選手村にも使われており**、3月には、菜の花台付近にある北小学校の学校林から切り出されたオリンピック選手村の木材が、ストラップに加工され、北小学校の子どもたちに還元されています。

先日、こうした環境教育が取材され、**6月3日午後6時半BS朝日の「梅雀さん、ひのきってなあに？」で放送予定**とのことでした。

北小学校の児童の皆さんが出演することと、私も秦野の良いところをどんなふうに表現してくれるのか、放送を楽しみにしています。



秦野市くずはの家
マスコット「もりりん」

私が大切にしている言葉
「教育は人なり」

報徳サミットマスコットキャラクター
そんとくん



毎年4月には、多くの先生方に、辞令を渡しています。辞令というのは、新しく先生になった方々や新しく校長先生や教頭先生になった方々に、よろしくお伝えしますとお伝える文書です。教育長になってから、辞令を渡す際に、7つのエールというメッセージも一緒に渡しています。**どの先生方にも共通して入れているのが、「教育は人なり」です。**実はこの言葉は、「論語」という中国の古い書物にある言葉で、**教育は人と人との信頼関係が大変重要であるという意味**です。本市では、二宮尊徳の報徳仕法という考え方も大事にしていますが、まっすぐで思いやりのある心のことを「至誠」と呼びます。「至誠」という姿勢が信頼関係を育むと思っています。

至誠